



尾久西だより

荒川区立尾久西小学校
発行日 令和2年4月13日
発行者 校長 芝田智昭

No. 347 4月号

異例の船出

この時期、本来であれば入学と進級をよろこび、新たな年度への期待に胸を膨らませているときです。しかし今年度は、子どもの命と健康を守ることを最優先する措置が継続しており、異例の船出となっています。保護者のみなさまにおかれましては、家庭での子どもたちの健康管理と見守りに万全の配慮をいただきありがとうございます。

“ピンチをチャンスに変える”、よく言われることですが、私の好きな言葉であり、まさに今がその時期だと考えています。普段の生活ができない、移動もままならない、必要なのに不足しているものもある、など、現在の状況は多くの制約に囲まれ閉塞感を感じることも少なくありません。そんなときに、ただただ悲観的になるのではなく、抑制的な暮らしは必ず明るい方向に結びつく信じ、今できることに前向きに取り組むことが大切です。例えば、本を読む、身の回りの整理・整頓をする、新しい分野の知識を得るなどは、今後の成長のきっかけになるかもしれません。

今年度の学校教育は、残念ながら通常よりも1か月ほど短くなってしまいます。しかし、その学年で身に付けるべき知識、習得すべき技能は変わりません。ではどうすればよいか。それは、時間を「量」ととらえ「質」との関係で考えると、教育活動の質を高めればよいのです。例えば10のことを定着させたいとき、2（質）×5（量）ではなく5（質）×2（量）の発想をするのです。もちろん指導の質を高めるのは簡単ではありませんが、現在のこの時期を活用して、指導力の向上を図り授業改善に向けた工夫をすれば、できると考えています。

子どもたち・保護者のみなさまにとっては、一生に一度のかけがえのない1年間であることを忘れず、日々の指導の充実に努めてまいります。今年度も引き続き、ご理解・ご協力をお願いいたします。

教育活動の根幹である学校経営方針【概要版】を裏面に掲載しました。また、教職員一覧等もお示ししているのでご覧ください。

現段階で決定している主な学校行事等の変更についてお知らせします。

- ・運動会（6/6） → 延期 10月31日（土）
- ・学芸会を展覧会にかえ、規模の縮小も含め実施方法や実施時期を検討する。
- ・下田臨海（4年7月） → 中止
- ・各種健康診断（1学期） → 延期
- ・広尾町訪問（5年8月） → 中止
- ・ワールドスクール（8月） → 中止
- ・1・2年合同遠足（6/12） → 中止
- ・オーケストラ鑑賞教室（10/28） → 中止
- ・3・4年合同遠足（6/23） → 中止
- ・合唱鑑賞教室（12/24） → 中止